

駒川商店街

(駒川商店街振興組合)

大阪府大阪市

！取組のポイント

客層のニーズを捉え、地域で連携したイベントを実施することで大規模な集客に成功。地域交流の場として子育て支援にも貢献。

取組の背景

大型商業施設などの立地により競争環境が激化

駒川商店街がある大阪市東住吉区は人口が減少しており、高齢者人口の比率が増加している地域であり、来街者のデータもその実態を反映している。また、周辺地域には、大型商業施設や大型店が立地しており、厳しい競争環境下にある。

商店街としてこれらの課題に対応するには、行政や地域住民と一体となって、地域コミュニティの創出・強化に取り組んでいくべきと考えている。

取組の内容

客層のニーズを捉え、地域連携イベントなどを実施

自治会やPTAなど、商店街の枠を超え、地域の団体と連携することで、ニーズの把握やイベントの実施を可能にしている。地域ぐるみで取り組むことで、商店街単独では実施できないほど多くのイベントを開催し、にぎわいの創出を実現している。特に子育て層の来街を促すにあたっては、ニーズを把握するため、東住吉区役所、社会福祉協議会、子ども会、女性部会、町内会連合会、民生委員などの地域団体と定期的に意見交換を行っている。

2015年度には、高齢者及びその他の商店街利用者の情報交換や休憩の場としてのコミュニティカフェの設置や、大学と連携した子ども預かりサービスを提供する施設の整備を行い、来街者の中心である高齢者と、来街者数を増やしたい子育て層に向けた対応策を講じた。加えて、商店街のイメージを明るくし、子育て層の来街者増につなげるべく、アーケードのポリカーボネートの張替や照明のLED化を実施している。

様々なテーマで年3回程度おこなわれる駒川コンテスト



1日目の踊りと2日目の夜店で構成される駒川まつり



その他、お笑い芸人による商店街内のお買得生放送や駒川ビッグマンデーと称したセール、無料の寄席や様々なテーマでおこなわれる駒川コンテストなど、年間90回にも及ぶイベントを実施することで、行けば何か楽しいことがある商店街というイメージを持ってもらい、繰り返し来街してもらえるように努めている。

取組の成果

イベントの成功及び子育て支援に貢献

毎年7月に開催する「駒川まつり」では地域内外から多くの人が集まるようになっており、2015年度の開催では約4万人の参加につながった。100円商店街の実施にあたっては、売上金額が通常時の約2倍に達するなどその効果が着実に現れてきているが、今後は個店のファンを増やす必要があるとの認識のもと、2016年2月から新たに「まちゼミ」を実施するなど、実施効果の確認やその結果を踏まえた新たな取組が行われている。

また、子育て支援スペース「JONANこどもひろば KOMAクル」を整備し、短期大学の専門家と話せる「子育てサポートカフェ」や子どもと親と一緒に楽しむ「キッズ・ミート・アート」を実施するなど、地域の子育て支援に貢献するとともに子育て世代の交流の場の提供にも寄与している。2014年3月には様々な活動が評価され、大阪府下の商店街で初となる経済産業大臣賞を受賞した。

実施体制

多くのイベントを実施するために、商店街内に設けられている様々な部会にイベントの担当者を分け、作業を分担することで、負担の軽減を図っている。それだけでなく、この各部会での活動は、商店街組織の幹部として活動する際の土台となっており、各部会でイベント実施の経験を積むことは商店街内での人材育成の場としても機能しているため、後継者の育成にもつながっている。

事業運営の経験を積むことで、どうすれば収益で事業を回せるかを考えられるようになり、事業の継続性が高まるほか、人材面においても継続が可能になる体制が作られている。

また、地域の自治会、地域のプロサッカーチームや近隣の大学など外部の団体と協力して事業を実施している。地域の自治体や団体などと一緒に取り組むことで、取組が成功する可能性を飛躍的に高めている。

年間約10件の商人体験と約20件の社会科見学を受け入れる



キーパーソンからのコメント

駒川商店街振興組合
理事長 名和 安将



目的意識と連帯意識の共有が第一歩

商店街再生の目的意識と連帯意識を持ってもらうこと、各々の能力を発揮してもらいながら目的達成するように導くことなどが難しかったように思います。また、商店街を取り巻く環境が大変厳しいなか、多数の事業を進めていくことは、各事業部のメンバーにはかなりの負担をかけました。

しかし、普段から、お客様を大切に、お客様のために、ということ意識させ、自然に力を発揮できるようになってきました。辛いことや苦しかった時もありましたが、そういった意識を持って達成できたことは大変嬉しく思います。

お客様の「満足」「良かった」のために

今後も、商店街活性化の旗印のもと、組合員が一丸となり、様々なイベントを通じてお客様と交流を持ちながら、マーケティングの実施や様々な情報収集を行いつつ現代の需要に対応できるよう、試行錯誤を繰り返し、駒川商店街の復活を目指します。

具体的には、空き店舗の活用、インバウンドへの対応などを計画中ですが、やはり最終目標は、お客様が駒川商店街にお越しいただいた時に、楽しかった、満足した、良かったと思われるようになることです。

基本データ

所在地	大阪府大阪市東住吉区駒川
人口	約13万人(大阪市東住吉区)
電話/FAX	06-6699-3931/06-6697-7272
関連URL	http://www.komagawa.net
会員数	204名
店舗数	235店舗(買回り品小売店99、最寄品小売店54、飲食店23、サービス店23、その他36)
商店街の類型	地域型商店街
主な客層	高齢者、主婦、家族連れ

商店街概要

長年、地域密着型の商店街として地域住民に親しまれてきた駒川商店街。現在235の店舗が軒を連ねており、大阪三大商店街の一つとして広く知られている。

全長730m(東西190m、南北540m)の十字型の商店街であり、近鉄南大阪線「針中野駅」から徒歩1分、大阪市営地下鉄谷町線「駒川中野駅」から徒歩3分であり、非常にアクセスしやすい好立地である。

規模が大きく、品揃えが豊富であることなどから、地域住民だけでなく、遠方からの来街者も多い。